

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】平成19年6月21日(2007.6.21)

【公開番号】特開2004-337609(P2004-337609A)
【公開日】平成16年12月2日(2004.12.2)
【年通号数】公開・登録公報2004-047
【出願番号】特願2004-141753(P2004-141753)
【国際特許分類】

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

【FI】

A 6 1 B 6/03 3 2 0 J

【手続補正書】
【提出日】平成19年4月27日(2007.4.27)
【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0006
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0006】

従って、前述の課題があるプレート/ワイヤ構造により、新しい製造技術の開発が促進された。コリメータ組立体を鋳造することにより、低費用及び鋳造物の大きな高さが得られる。しかしながら、鋳造することがこれらの利点をもたらすには、鋳造物の頂点から底部までの寸法精度を犠牲にすることが多い。その代わりに、所望の寸法精度を得るものとしてスタック積層体を使用することもできる。しかしながら、スタック積層体はスタック高さに制限がある上に、望ましくない費用がかかる結果となりうる。従って、各解決法は、コリメータ製造においてその使用を妨げることになる特徴を伴っているといえる。

【特許文献1】米国特許第6934354号